

京都・水の聖地

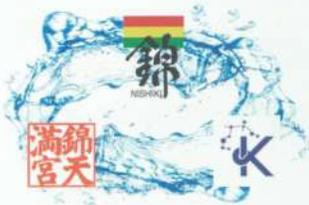
錦

水の聖地・スタンプラリー

6月17日(土)～18日(日)
10時～16時

景品内容

- ・水の聖地クリアファイル「錦」
- ・錦市場商品券(1000円)



京都錦市場商店街振興組合
錦天満宮
京都産業大学鈴木ゼミ

目的

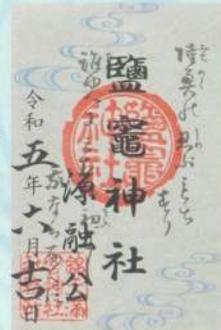
錦の食文化を支え、京の台所を持続可能とした地下水の価値を知る。

地下水は、錦天満宮・錦市場と地域等をつなぐ役割があり、近隣の住民や観光客にその価値を広める。

古くから守られてきた「水文化」を未来へ伝承する。

オリジナル御朱印について

この度、錦天満宮と鈴木ゼミで新たな「水の御朱印」を作成しました。錦天満宮の摂社である塩竈神社の御朱印となっています。塩竈神社の御祭神は、光源氏のモデルとされる源融公であり、「安産の神様」として祀られています。源融公は昨年、生誕1200年を迎えました。「水の聖地」を連想していただけるよう水紋と、源融公が詠まれた和歌を用いたデザインにしています。この御朱印をきっかけに、塩竈神社を知って頂ければ幸いです。



鈴木ゼミについて

京都の名水が地域に果たしてきた役割を示すことで、生命の源である水と地域特製の関係を明らかにしたいと考える鈴木ゼミ。私たち4期生「水の聖地チーム」では、京都の水を聖地化するための第一歩として「錦市場」・「錦天満宮」に流れる地下水を広め、多くの人に水と触れ合ってもらったことを目的とし、活動しています。



活動のきっかけ

皆さんは京都の水の魅力を知っていますか？私たちは、京都の長い歴史の中で人々の暮らしの中に水が常にあったことを知り、寺社や歴史などと並んで、京都に「水」の文化を創りたいと考えました。「京の台所」と称される錦市場の地下水は生活用水、商業用水としても広く使われ、今日まで愛され続けてきました。

そこで水と関わりのあるスポットを聖地化するにあたり、私たちは「錦市場」・「錦天満宮」をフィールドに活動しています。

